えくてびあん

立川と語ろう　立川に生きよう
October 2020
Écoutez Bien　Vol.37　No.427

10

気うご期待「新・砂川深層」

表紙／高い空に秋桜

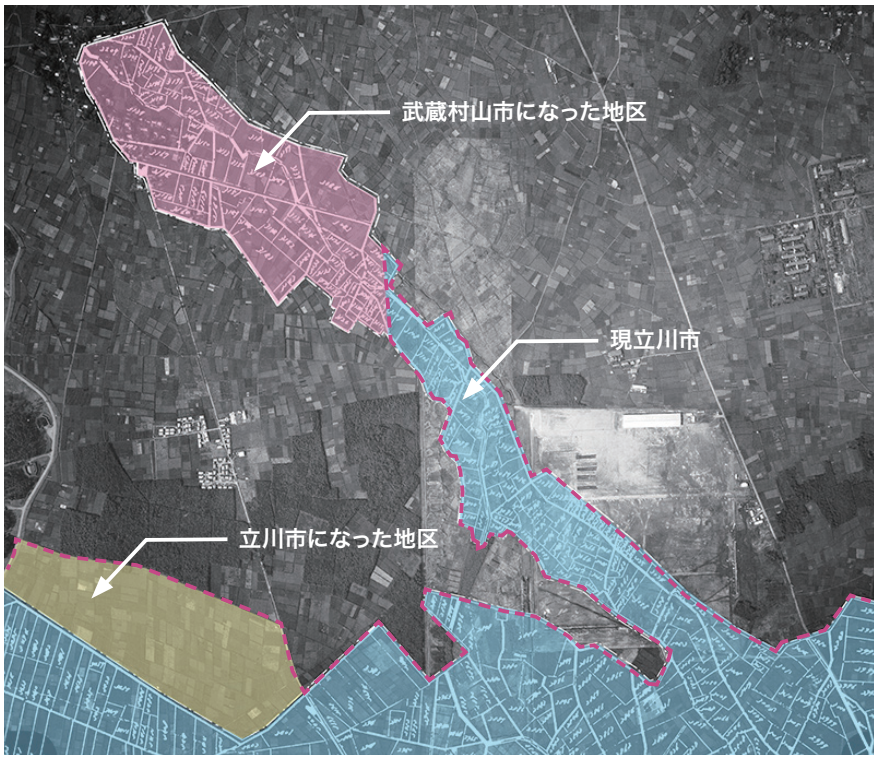
新・砂川深層 ①

はじめに

先月号で最終回となった「立川深層」。連載中、過去に掲載した「砂川深層」「続・砂川深層」のバックナンバーをとのご要望を多数いただきました。在庫がなくなったこともあり、豊泉さんに「砂川深層」の再掲載をお願いに伺ったところ、「それだったら、まだ書きたいことがあるから新しく始めようか」とのお言葉をいただきました。引き続きとなりますが、「新・砂川深層」よろしくお願いいたします。

砂川開拓400年（象の鼻）

案内人：豊泉喜一氏



立川市と合併後、象の鼻の先端部分（飛び地）は、武蔵村山市の現エステート一番館部分と土地の交換

立川市は多摩川の河岸段丘にあり、およそ5000年前の縄文中期の住居跡や土器なども数多く発見されるなど古い歴史があります。それに比べると砂川地区は数千年の間無人の原野で、人が住み始めたのは慶長14年（1609）、岸村（現武蔵村山市）の村野三右衛門が開発願を出し、岸村から東南に向かって流れる残堀川沿線の「地味宜しき所」の開拓を始めたとされ、それから数えると現在開拓400年余りになります。

残堀川は武蔵野平野を南北に流れ多摩川に連なる唯一の川ですが、川と言っても水源は狭い狭山丘陵で、雨期以外はほとんど流れのない川であり、別名「砂の川」と言っていてこれが砂川の語源となったものです。この残堀川に常時水が流れ、人々が生活する程の水量があれば砂川は現在と違った形態の町になっていたことでしょう。砂川が今の形に成立したのは、承応2年（1653）玉川上水が開削され砂川分水ができた結果です。

古い砂川の地図を見ると、砂川三番から北西に向かって細長く武蔵村山市の区域に伸びている区域があります（地図参照）。これは、開拓当初残堀川沿いの「地味宜しき所」を開拓した結果で、現在の立川市の部分を象の体に見立てると北西に伸びている細長い部分は象の鼻のように見えることから、私はこれを「象の鼻」と呼んでいます。

現在上砂町5丁目にある上砂小学校北側の道路が武蔵村山市の境界です。そこから北側は武蔵村山の市域ですが、その中に北西方面へ細長くおよそ2km先の残堀街道まで砂川町が延びていました。この先端部分には砂川町民が居住していましたが、ここの子供たちは現立川第9小学校までは余りにも遠いため、武蔵村山市の学校に通学していたようです。

ところが昭和35年（1960）この場所にプリンス自動車（現日産）の工場が出来て、敷地内を流れていた残堀川は日産の敷地西端まで移動、ここに工場が出来たため「象の鼻」の先端部分、つまり現在のイオンモールから先の部分が分断され「飛び地」状態になってしまいました。そこで、立川市と合併5年後の昭和43年（1968）に、この「飛び地」部分と現エステート一番町部分を武蔵村山と土地の交換を行いました。現在では「象の鼻」と呼ぶには短くなってしまいました。

昭和29年頃　砂川町全図

現在、日産自動車工場跡地の大部分は武蔵村山市ですが、その中に細長く立川市上砂町6丁目が存在しています。現在この6丁目区域には立川市民は一人も住んでいませんが、砂川開拓400年の歴史はこの区域から始まったと思われます。

［ 立川に育まれて ⑲ ］

コロナ禍に生み出す賑わい

立川観光協会会長に聞く

本来なら国内外からの来街者で賑わっているはずだった。
ほとんどのイベントを中止し、年内に何かを開催する予定もない。
賑わいを創出するための観光協会会長として、今何を思うのか。

―― 岩﨑さんとお呼びするより太郎さんと呼んだ方がしっくりきます。太郎さんと呼ばせてくださいね。もう言葉にするのも憚られますが、コロナ禍で4月から6月期のGDPが過去最大の落ち込みと言われています。

岩﨑　大変ですよね。

――業種によっては本当に辛いと思います。頑張ろうと思っても頑張り方がわからない。事業所の家賃については助成もありましたが、貸す方も家賃を下げざるを得なくて大変だったそうですね。

岩﨑　下げるか下げないか、そこはそれぞれオーナーの考え方でしたが、今はテナントさんに出ていかれると今度は入る人がいない状況ですからね。どちらも大変ですよね。

――飲食店を続けるには何か策を考えなければということですが、何をするか。

岩﨑　テイクアウトや宅配はもちろんですが、クラウドファンディングで資金を工面している人もいますね。

――基本的なことになりますが、観光協会は自治体によって成り立ちが違います。立川観光協会は立川商工会議所の一部ですか？

岩﨑　一応独立した組織ですが、事務を兼務して頂いているので親戚の様な組織とも言えますね！

――それは情報共有という点ではとてもいいことですよね。太郎さんは昨年5月の総会で観光協会の会長に選出され、6月から活動を始められました。2019年は花火大会もできましたし、楽市も盛大でした。

岩﨑　会長として伝統を継いでいく重責は感じていましたが、順調な滑り出しではありました。

――今年イベントは中止になりましたが、最近私どもの手元に「立川観光協会NEWS」が届いたりして、今までない動きに少し新鮮な気持ちがしています。

岩﨑　それもコロナの影響なんです。商工会議所の広い会議室は持続化給付金の申請コーナーになっていたり、他の会議室も人数制限があって理事会が招集できなくなってしまったんです。観光協会はもともと会員さんと意思疎通の少ない組織でしたので、様々な情報をお伝えし切れていなかった。ですから、まずは会員さんに情報をお伝えするというあたりから始めて、その延長でみんなで通信的なものを出してみようかと始めたのが「立川観光協会NEWS」です。

――変化を感じました。

岩﨑　そうですか？　もともと商店街ではこのようなやり方を推進してきていましたので、それを応用したということになります。

――太郎さんは商店街の活動にも積極的でいらっしゃいますよね。あけぼの商店街の理事長でいらっしゃる。どの地域が含まれるのですか？

岩﨑　ピタゴラス通りからタクロスさんの先の地下道手前まで。それとサンサンロード西側も入りますし、この度はグリーンスプリングスさんにもご加入いただきました。

――立川の中では一番旬な場所ですね。

岩﨑　う～ん。場所的にはいいかもしれませんが、地元の人が少ないので商店街の帰属感といいますか、参加意識は少し希薄ですね。それを維持するのは大変です。ですからサンサンロードには独自のサンサンロード推進委員会みたいなものがあってもいいかもしれないですね。

――確かに。チェーン店や遠隔地にある本店のブランチが多いですものね。サンサンロードといえば、最近テレビなどで露出度の高いところですが、フィルムコミッションも観光協会のお仕事ですか？

岩﨑　フィルムコミッションは、立川市と一緒にやらせていただいています。

――20年くらい前、商工会議所からお話を頂戴して、えくてびあんでフィルムコミッション用の写真を撮らせていただいたことがありました。

岩﨑　覚えていますよ。私、担当でしたから。石原都知事時代に東京都でロケーションボックスという組織を作ったんです。ハリウッドなんて道路でカーチェイスしちゃえるのですが、日本ではそうはいかない。それをできるようにしようということです。その時に、立川にもこういうロケ地がありますよという情報を写真に撮ってほしいとお願いしたのだと思います。そのデータをロケーションボックスに持って行って、撮影の依頼が入るとロケーションボックスで紹介してもらうというスキームだったんです。当時は立川独自でというわけではなく東京都にお願いした形でした。

――今は立川独自のフィルムコミッションになって、いろいろな場所がよく撮影に使われていますよね。立飛さんの敷地内は本当によく登場します。

岩﨑　昔は倉庫の需要もあったし、敷地内に道路がありますからね。東京都とやっていた時に言われたことは、撮影に使いたい場所と立川が撮ってもらいたい場所は異なる、ということでした。警察、病院、学校というのはどこで撮っても同じなのですが、これは三種の神器と言われるほど定番な場所。それ以外、例えば昭和記念公園のきれいな風景とか多摩川とか、撮ってもらいたいというこちらの思いとはちょっと違いますよと。でも今はそうではなくて、フィルムコミッションを整備したことでこちらの思いも遂げられるようになっています。ただ病院の撮影は今はできませんけどね。

――できないですね。コロナでできないことだらけになっています。できない繋がりで、立川のお土産推奨品認定委員会ですが、こちらも中止になりました。

岩﨑　皆で集まって試食する事は難しかったですね！ですから今年は、今まで推奨品として認定されていた商品をそのまま繰り越して認定しましょうということになりました。今は来年に向けて新しい商品を発掘している段階です。

――さて、本日一番お聞きしたいことになりますが、厳しい情勢下、観光協会としてはどうやって下支えしていくおつもりですか？

岩﨑　観光協会というのは人の賑わいを作るのがお仕事ですから、今は何もできないのが事実です。企業さんが夜の接待を伴う集まりを禁止している状況では、これから年末にかけての忘年会シーズン、年が明けての新年会シーズン、大きな箱の居酒屋さんなどは本当に厳しい状況になっていくのは否めないです。実際にお話をうかがってもとても深刻な状況です。

――冬にかけてインフルエンザと共にコロナもまた流行することは予想されることですからね。

岩﨑　でもね、たまたま今年が立川市の第三次観光振興計画の最初の年なんです。5年計画が今始まったところです。そのテーマが「あなたの“好き”と出会えるまち　立川」っていうんです。

――ええ。

岩﨑　この意味合いが、立川って傑出した観光施設というものがない。小さな核がポンポンってあって、それぞれに好きな人が集まって来るということです。大きなことで大勢を集めるのは難しい。でも、それぞれの小さな事業を少しずつやっていく形でならやれるだろうということです。何か大きなことをやって計画的に5年後に観光客をどのくらい集めるという目標はかなりトーンダウンしますけれど、でも集められる素地はいっぱいあるので、それぞれのところで少しずつ人に来てもらう、現状ではそういう形でいくしかないですよね。

――確かにそれぞれ好きなところに、あるいは自分の興味のあるところに集まっていくというのはいいですよね。

岩﨑　グリーンスプリングスさんなども、様子を見ていますとものすごい数の人が来ているわけではない。なんとなく面白くて人が来てくれています。感染防止対策をしっかりして、そこそこの人数に来てもらえるといいですね。

――そうですね。そこが大事ですね。グルメサイトなどでも、美味しいとかコスパいいとかだけでなくて、このお店の感染防止対策すごい！っていうことを評価していくようにすると、安心につながって、そこに価値を求める人が来るかもしれないですよね。

岩﨑　そうですね。密にならない程度にそれぞれの楽しみを見つけていただいていくというのが現時点では言えることでしょうか。

――太郎さんご自身の楽しみはなんですか？

岩﨑　無いですね～。今年は立川の観光振興計画も新しくなったし、グリーンスプリングスさんもできたし、やる気を漲らした年なんですよ。立川市の中にも観光協会の役割を結構入れてもらっていて、これは大変だなあと自分の中でも思っていたのですが、すべてひっくり返ってしまいました。いろいろなイベントを中止にしましたので、秋まではそれぞれの後始末がありまして、それをきちんと整えて、関係者にお詫びをして来年に繋げるというのが今の仕事なんです。オリンピックがどうなるかわかったところを起点にこれからの新しい観光のスタイルを観光協会として打ち出して行きたいですね！

岩﨑太郎氏

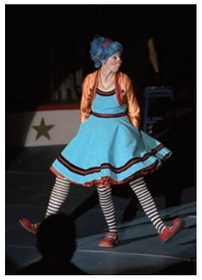
岩﨑商事株式会社 代表取締役。立川観光協会会長、あけぼの商店街振興組合 理事長。2010年からアニメによる街づくりに取組み、2013年「ガッチャマン クラウズ」の撮影が始まるとフィルム・コミッションで協力してきた。「聖☆おにいさん」の劇場版公開の際には、舞台となった部屋をシネマ通りに再現し、アニメの舞台の街として多くの人を集めることに貢献。やりたいことがやれる環境ではなくなった今、観光協会会長として観光の火を消すことなく取り組んでいる。

感動と笑いを

木下大サーカス、12年ぶりの立川公演

サーカスを観たことのない人は観た方がいい
サーカスを観たことのある人も、観た方がいい
演者はいつもその一瞬にかけているから

警戒心の強いシマウマは並ばせるだけでも大変なのだそう


さりげなく3本足のクラウン

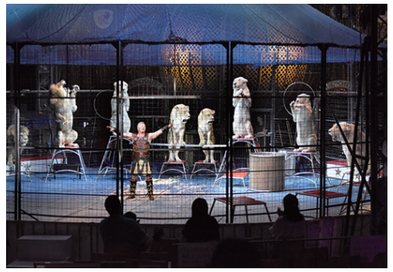
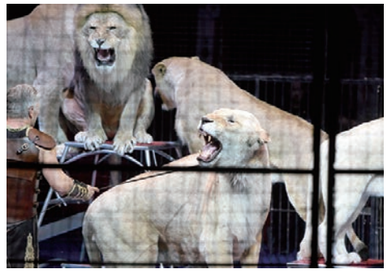
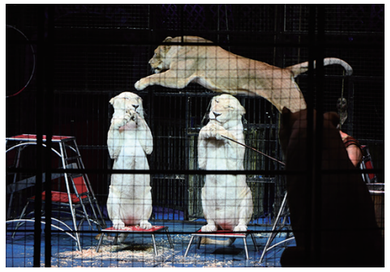
バイクに乗っていたのはこのイケメンたち。

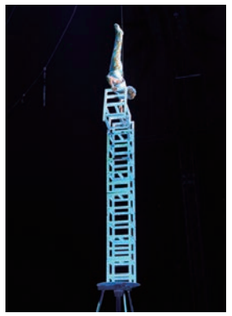
立飛駅周辺にはららぽーと以外にもいろいろな建物が並んでいる。ちょっと離れているとすっかり姿が変わる、それが今の立川だ。ららぽーと立川立飛ができて、アリーナやドームができ、ビーチでバーベキューを楽しみ、映画館が開館して、フットサルコートでは子どもたちが汗を流す。その一角、高松駅に近いところに何本も大きな旗を翻す大きな赤いテントが見える。それが木下大サーカスだ。

スリル満点、ハラハラドキドキ、そこに笑いがある、それがサーカス。8月1日に開演し、千秋楽は12月14日のロングラン。人も動物も、暑い夏から寒さが増す冬まで、立川の地で感動を繰り広げる。1度観ても、また観たくなるのは、その演技が秀逸だから。えくてびあんでは12年前の公演も取材した。その時にいたライオンのリオは、今も健在。リオはすぐにそれとわかる。なぜなら、何にもしないで座っているだけだから。ホワイトライオンを含む8頭のライオンたち、リオを除く7頭は調教師の指示に従って、飛んだり吼えたり立って手を合わせたり。ところがリオは何にもしない、それどころか退場する際には調教師に「プリーズ」とお願いされて、ゆっくりと「しかたないな〜」と言った様子で、芸もしないで去っていく。実はそれがリオの演技。もうすっかりおじいさんになったリオ。リオに会いにまた行きたい。

オートバイが球の中でブンブン回る。子どもの頃に観た印象は、ただうるさい。排気ガスが臭い。ところが今はそんなんじゃない。音も静かだし、臭くない。しかも、2台のはずのバイクがなんと3台になっていて、球体のドアを閉めるために中に人が立っている！ いつ事故が起きてもおかしくない怖すぎる光景が眼前に。空中ブランコで演者が目隠しをする。どうなるんだろう、落ちちゃうんじゃないかな。ネットが張られているとわかっていても、落ちてくるときにはこちらのお腹がヒューっとする。そして感動のフィナーレ。無事に終わって良かった、と思ったらなんだか涙が出てきた。

球体の中に3つの光。それがバイク。真ん中に人が立っている。




8頭がそれぞれに芸を披露。百獣の王だから吼えるのもひとつの芸。時折みせる姿が、大きい猫みたい。


怖すぎる演技　椅子を重ねて、ひっくり返して、もう怖すぎる

観ればわかる、このジャグリングのすごさ。投げた麦わら帽子が戻ってきたり、行きっぱなしにすることも自由自在。

大きい姿なのに、愛嬌があってとてもかわいい

フィナーレ。コロナ禍、ソーシャルディスタンスを維持しての観客席ではあるが、大きな拍手が起こっていた。

木下大サーカス招待券プレゼント

えくてびあんでは後期（11月1日〜12月14日）に利用できる招待券を20名様にプレゼントします。ご希望の方は、ハガキに住所、氏名、年齢、連絡先をご記入の上、〒190-0023 立川市柴崎町2-1-10　高島ビル4階　えくてびんプレゼント係までご応募ください。
応募多数の場合は抽選になります。なおチケット発送をもって抽選の結果とさせていただきます。応募締め切りは10月19日（月）必着です。

えくてびあんの輪

えくてびあんはリストのお店にあります。
今月は 曙町・羽衣町・錦町・柴崎町
立川市外 のお店です。

曙町
- レストラン いなつき……528-1470
- 立川市女性総合センター アイム 528-6801
- オリオン書房 ノルテ店…… 522-1231
- 洋食屋 にゅうとん…… 522-3921

羽衣町
- 額縁専門店 プリムベール… 528-6789
- たましん 東立川支店…… 524-0611
- ギリシャレストラン SHUPOUL 519-3923
- 林歯科医院…… 522-5657
- 新鮮野菜・惣菜 立川商店 522-3565
- 本・事務用品 泰明堂…… 522-3353
- 本と文具 ないとう…… 522-3677
- 赤松タバコ店 …… 524-7852
- BB TAKAOKA…… 521-0236
- まごころ銘茶 狭山園…… 527-0146
- お好み焼ともんじゃ焼 こけし 526-1267
- そば たかや…… 595-6922

錦町
- 鳥料理 くし秀…… 522-7692
- 寿司勝 ……522-4874
- イタリア料理 トラットリア ドン シェ～ 512-8735
- 宮地楽器 MUSIC JOY 立川南 526-1779
- 中国料理 五十番…… 522-7472
- 一六珈琲店…… 527-1680
- 手づくりみそ 材料専門店 北島こうじ店 524-3190
- new gyoza 1059　餃子天国 526-2283
- バル アラディ…… 523-3917
- CAFE SOMMEILLER…… 527-1440
- 中国整体院…… 529-1088
- 日本クッキングスクール…… 522-3440
- 元祖５本指ソックス専門店 LASANTE 540-1616
- ホテル日航立川 東京…… 521-1111
- 美容室 アリス…… 525-1100
- FALCO hair…… 528-2389
- N HAIR WORLD…… 523-5336
- 創作料理 caffe & bar 厨～kuriya～ 595-7449
- TTM（株）…… 524-5787
- Bakery Café Crown…… 526-2226
- 日本空手道 佐藤塾 …… 548-7460
- 三田花店本店 …… 524-4187
- いわさき痛みの整骨院 ……529-5123
- にしやま薬局 …… 525-9212
- たましん RISURU ホール 526-1311
- たましん 錦町支店…… 528-0511
- 豆やキッチン pocotto…… 808-7507
- カレー店 CHOTA …… 525-1004
- パン工房 グラーティア…… 512-8667
- そば処 高尾亭…… 522-2710
- Natural Food Restaulant シェいなば 529-5921
- Garden & Crafts café 0120-412-877
- 至誠学舎立川 …… 527-7734
- 至誠ホーム……527-0031
- 至誠介護相談センター…… 527-0321

柴崎町
- 諏訪神社…… 522-2968
- 毎日新聞社グループ（株）毎日広告社 522-6121
- バスタビーノ はしや …… 521-3386
- 高島ビル…… 526-0111
- Hair Room MOON ZETTON 523-0961
- 南武堂剣道具店 …… 527-0197

立川市外
- **昭島市**
- ECO'S 昭島店…… 546-3710
- **武蔵村山市**
- 中国料理 菜…… 561-7233
- **国分寺市**
- パンの店 fermata …… 534-3334

jorakugajo
真如苑提供番組〈常楽我浄〉
スカパー！：529ch
スカパー！で放送の常楽我浄は
スマートフォンアプリ「ivy」（無料）で視聴できます。
J:COM 多摩：11ch・111ch
放送時間については番組表をご確認ください。
www.shinnyo-en.or.jp

街の話題 TOPICS OF TACHIKAWA

未来の消防イメージは？

写真：立川消防署

8月15日（土）と16日（日）、伊勢丹立川店5階特別室で「未来の消防イメージ図画作品展」が開催されました。立川第六中学校3年生が描いた未来の消防イメージ図画には、消防車の5倍の水を溜めることができるドローンや、建物にバリアを作り消火するなど想像力豊かな作品が多く集まりました。また作品展示にあわせて東京マイ・タイムラインも広報され、来場された方からは「これから台風の季節なので、マイ・タイムラインも作成して備えたい」との声が聞かれました。マイ・タイムラインとはいざという時慌てることのないように、避難に備えた行動をそれぞれが予め決めておくもの。「東京都防災アプリ」をダウンロードすれば自分に必要な情報がカスタマイズされます。

新しい可搬ポンプで頑張るぞ！

新しい可搬ポンプ

砂川七番組の可搬ポンプが新しくなりました。砂川には一番から十番まで立川市消防団が配置されていますが、砂川七番の消防団が現在は南砂に移ったため砂川七番には可搬ポンプを使った市民消火隊が編成されています。17年間使った古い可搬ポンプが新調され、8月23日（日）お披露目となりました。17年間一度も火事で出動したことはないそうですが、これからも引き続き安心安全な街づくりに取り組んでいただきたいですね。

お披露目のあとで隊員のみなさんと（写真：萬田和正さん）

コロナに負けない！GENKOTSU vol.7 開催

ジャッジ判定は3-0で齋藤の勝利

8月9日（日）アリーナ立川立飛で、3月から延期されていた「GENKOTSU vol.7」が開催されました。3200人収容のアリーナには800人ほどの観客。トイレや通路などでも密にならないよう感染防止対策はできる限り万全に。昨年は大きな声援や花束の贈呈などもありましたが、コロナ禍の今年応援は拍手のみ。立川の石川ジム所属の齋藤眞之助選手は2019年全日本ライト級新人王。福岡県警巡査部長の橋本祐二選手を倒して、拍手だけの静かなリンク中央でファイティングポーズ。「社会的責任を果たすためボクシング界から感染者を出さない」を合言葉に頑張ってこられた主催者の石川ジムさん、お疲れさまでした。

齋藤眞之助選手　軽快な入場曲と共に観客に手を挙げる

他人事じゃないよ！ 振り込め詐欺

「振り込め詐欺」は聞き飽きるほど聞く言葉。でも、身近なところで起きています。2月27日午後4時ころ、ららぽーと立川立飛内にあるATMで携帯電話をかけながら振り込みをしようとしている年配の方。ららぽーと内の警備にあたっていたTPM（立飛プロパティマネジメント）の社員が事情を聞くと、どうも還付金詐欺のよう。「お父さん、だまされていますよ、それは詐欺ですよ」と話しても信じてもらえない。最後は市役所に電話をして詐欺だということをようやく納得してもらい、未然に防ぐことができました。その表彰が8月20日（木）立飛HD本社内で行われました。岡野祐資立川警察署長から感謝状を手渡されたTPM社員でららぽーと立川立飛施設警備担当責任者の山本新吉さんは、「騙されている人は本当に騙されきっていて、こちらの言うことを信じてくださらないんですよ」と。私は騙されない！と思っている人ほど危ないかもしれないですね。

山本新吉さん（前列左から2人目）、前列右は岡野立川警察署長

立川警察署長から感謝状を受け取る山本さん

今の気持ちをラジオで語る

グーグルフォーム応募用紙はこちらから

立川こぶしロータリークラブは創立35周年事業として、「YOUNG VOICE ON THE AIR」～子供たちの声をラジオに～を企画しています。コロナ禍の想いを作文にして、さらにそれをラジオを通して多くの方に聞いていただくものです。作文の募集期間は2020年10月～2021年6月まで、3回に分けて募集します。応募資格は立川近郊在住の小学校高学年及び中学生。ラジオで放送する前にはミニアナウンス教室を体験することもできます。コロナで閉塞感漂う毎日を、こういう企画で吹き飛ばしてみませんか。お問い合わせは東京立川こぶしロータリークラブ35周年記念事業事務局まで。

正しく恐れて、できるかぎりの防止対策を

「立川は安心安全」が神話にならないように、それぞれがしっかり感染防止策を整える、そこに尽きます。ということで、飲食店の努力として「こんなことをしています」をご紹介。今月はえくてびあんにご協力くださるお店から3店舗の対策を。頑張る立川、応援します！

【 串揚げトントン　柴崎町2丁目 】

入口で手指消毒。店内の各テーブルには透明の仕切りがあります。飛沫感染防止のための方策ですが、店主手作りのパーテーション、使い勝手がとてもいい。お腹いっぱいになるランチは大好評。

掘りごたつ式の席［トントン］

カツや串揚げ、うどんも美味しい［トントン］

【 中華料理サンフジ　幸町2丁目 】

手指消毒、飛沫防止板に加えて社会的責任という観点から、万が一の時にきちんとお客様にご連絡できるよう、任意で用紙にご記入いただいています。サンフジ名物天然氷使用のかき氷、今年は9月もやってます！

【 JARDIN立川　曙町1丁目 】

入店時には手指の消毒と検温をします。案内される席は一定の間隔を開けて密にならないように。立川産の野菜や卵、立川ではここでしか味わえない浅草開化楼のモチモチ生麺を安心してお召し上がりください。

お客様に記入をお願いしている用紙［サンフジ］

全卓に飛沫防止板、もちろん動かせます［サンフジ］

入口で検温
［JARDIN（ジャルダン）］

2階の宴会席は席数をグッと減らして広々と、ランチから使えます［サンフジ］

密を避けて。ランチでもラクレット［JARDIN（ジャルダン）］

※お店紹介「おじゃましま～す」は、しばらくお休みします。お店情報は多摩てばこネットをご覧ください。毎日更新中。

表紙

立川の空

立川駅北口方面には電線のないところがあります。高いところから見るとよくわかる。昭和記念公園の上にも立川駐屯地の上にもモノレールの走る両サイドにも、電線はありません。秋の空は高いと言いますが、立川の秋空は高くて、広い。その空に似合うのがピンク色のコスモス。この時期は台風の時期でもありますが、コスモスは倒されてもその頭をまたもたげて太陽の方向を見て咲くのです。秋の桜は、春の桜と同じように風にも雨にも負けないで、人を楽しませてくれています。どんなことがあったって、へこたれないでまたきれいな花を咲かせましょう。緑多い立川で、自然はいろいろ教えてくれます。

かたこと

◆この度の台風、大雨により犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被害鎮静と1日も早い復興をお祈り申し上げます。また依然コロナ禍にある中、医療従事者の皆さまのご尽力に心より感謝申し上げます◆立川でも大変な雨が降ることがあります。まさに雨柱。10m先は大雨なのに足元は降っていない。でもあっという間にその柱はやってきて、自身もずぶ濡れ。そんな経験をされた方もあることでしょう。「昔は夕立があってね、ザーッと降ると熱くなった地面が冷えて涼しい風の中にヒグラシが鳴いたもんだ」と年配の方がおっしゃっていました。涼雨なら嬉しいのですが、最近は滝落とし。水害にはお気を付けください◆9月6日（日）台風が近づいていたせいか、降ったり止んだりのお天気でした。ふと見ると、大きな二重の虹がくっきりと。雨がないと虹は出ません。日も射さないと虹は見えません。うまく調和できた時、こんなに美しく虹は見えるのだなと改めて思いました。いろいろなもの、いろいろな事が入り混じる立川も調和してステキな街ができあがっていくのでしょう。えくてびあんもその一助にと頑張ります！

えくてびあんスタッフ一同

えくてびあん ©
10月号　第37巻　通巻427号
令和2年10月1日発行
発行　有限会社えくてびあん
〒190-0023
東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F
TEL 042-528-0082　FAX 042-528-0065
E-mail message@tamatebakonet.jp
URL https://www.tamatebakonet.jp
発行人　黒須 環
企画・写真・編集　えくてびあん編集スタッフ
デザイン 池田隆男（WATER DESIGN ASSOCIATES）
印刷　三浦印刷株式会社・DECK C.C.

無断転載を禁じます。

オレの立川ノスタルジー ［立川の風景 昭和色アルバム その６］から⑥

'62 フォードギャラクシー 500 サンライナーコンバーチブル

［立川の風景 昭和色アルバム その６］ 163 ページ （写真：高木紀男氏）

立川基地全面返還はオレが中学2年の時だった。1977 年、ヤクルトスワローズ初優勝の前の年、ピンクレディが「カルメン'77」を熱唱していた。基地のある街に生まれ育ったせいかその存在が当たり前で、特段意識もしていなかった。返還されたからと言って何が変わったかよくわからない。飛行機は本当に飛ばなくなったのか？ ベトナム戦争真っただ中ビンビン飛んでいた記憶はあるが、そういえば戦闘機のあのものすごい爆音が聞こえなくなったかな程度のことしか覚えていない。

基地時代、白人が通う店があったとか黒人専用の店舗はこの地域にあったとよく言われるが、まだ子どもだったからかその記憶もあまりない。ただ西立川駅前には英語の看板が多くあったのは覚えている。第一デパートの寿屋でプラモデルを見ていると、白人の親子がやってきて同じようにプラモデルを見ていた。男の子がお父さんに「Gacha（ガッチャ）」「Gacha（ガッチャ）」と言う。指さすのはガッチャマンのG1号のプラモデル。当時、「科学忍者隊ガッチャマン」が日曜日の夕方に放送されていて、オレも当然観ていたし、子どもたちの人気番組だった。男の子はお父さんに「Gacha」と言いながら買ってくれとせがんでいたようだった。結局そのプラモデルは買われず、置いて行かれた。そして、それをオレが買った。

語り：鈴木 武 氏（立川印刷所社長）